

[中央公民館展示案内]

1階町民ラウンジで
展示しています。

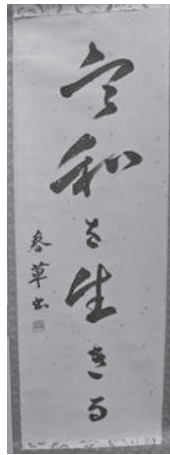
《書道コーナー》

【掲示期間】

2月1日から3月31日まで

殿岡 春草さん（荒砥）
平井 優苑さん（畔藤）
須貝 修成さん（荒砥）

書・殿岡 春草



3月

デマンドタクシー
運行・予約受付カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	④	⑤	6
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	13
⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	20
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉗	㉘	㉙	㉚			

●予約受付日 日曜～金曜日（丸印の日）

※利用の際は、前日までご予約ください。ただし、当日午後1時以降の便を利用する場合は、当日午前9～11時まで予約すれば利用可能です。

●受付時間 午前9時～午後5時

デマンドタクシー予約センター ☎ 85-0365

1月の「町長交際費」と「町長の主な動静」

問 総務課総務係 ☎85-6120

●町長交際費

支出日	区分	支出額	内 容
1月14日	香典	10,000円	元職員弔慰金
1月19日	贈答品	30,000円	故奥山敬良氏叙勲

支出額	区分	支出額	内 容
1月25日	贈答品	3,850円	町特産品PR
1月25日	贈答品	33,150円	重要事業要望
	計	77,000円	

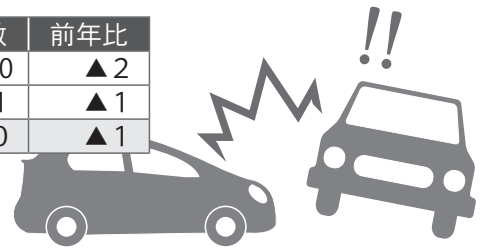
●主な動静

月 日	行 事 名
1月4日	仕事始めの式
1月9日	白鷹町消防団安全祈願祭・最高幹部会
1月12日	新年度予算課題事業ヒアリング
	新年度予算課題事業ヒアリング
1月13日	定例課長会
	第26回感染症対策本部会議
1月14日	第27回感染症対策本部会議
1月15日	第28回感染症対策本部会議
1月19日	山形県町村会総務委員会
	山形県幹部職員との意見交換会

月 日	行 事 名
1月20日	新入学児童ランドセル贈呈式（蚕桑小）
	新入学児童ランドセル贈呈式（鮎貝小）
	産業建設常任委員協議会
1月21日	全員協議会
	議会運営委員会
	第1回白鷹町議会臨時会
1月22日	山形県防災・危機管理トップセミナー（WEB）
1月24日	山形県知事選挙当選祝い
1月26日	市町村番組「ふるさと納税わがマチへ」収録
1月27日	第2回最上川流域治水協議会（WEB）

■交通事故発生状況（令和2年1月1日～12月31日の一年間）

	発生件数	前年比	負傷者数	前年比	死者数	前年比
山形県	3,328	▲964	3,975	▲1,160	30	▲2
長井警察署管内	81	▲45	96	▲60	1	▲1
白鷹町	17	▲15	20	▲17	0	▲1



《白鷹町内の交通事故の特徴》

- ①発生件数 17 件（死亡事故 0 件、重傷事故 3 件、軽傷事故 14 件）
- ②国道、県道などの幹線道路での発生が、全体の 82.3%を占めている。
- ③前方や相手車両をよく見ていなかったなどの安全不確認事故が 58.8%で、続いて交差点関連違反の事故が 17.6%と多い。
- ④事故発生時間帯は、午前 9 時～正午、午後 2 時～6 時が事故の多い。

冬の交通安全 ～雪道の心構え～



《ドライバーの皆さんへ》

“ゆっくり走ろう！あぶない冬道！”

- 滑りやすい路面を見落とさない。
黒っぽく見える路面・交差点の手前、その付近・橋の上・トンネルの出入口・水の浮いたアイスバーン
- 油断しがちな場面！慎重な運転を。
暖かい日の日陰部分・雪が少し降った早朝・ゆるい下り坂、ゆるいカーブ・わだちや凹凸
- 地吹雪や濃霧などの悪天候や視界不良時は昼間点灯を積極的に。
相手に早く気づかせ、安全に走行・視界不良時の安全確認の徹底と徐行・道路わきの雪山に隠れた歩行者や車の予測



《歩行者の皆さんへ》

“油断大敵！自分で自分を守る！”

- 車から歩行者は見えません。
道路わきの雪山の影から急に横断しない・足元を気にし過ぎて、車への注意を忘れないように・吹雪の中でも、しっかり安全確認
- 家の出入口付近で除雪作業する場合。
通行車両に注意し、道路にはみ出での作業はしない
- ※全座席のシートベルトとチャイルドシートの着用を、家族みんなで徹底しましょう。



確認しよう！
踏切事故を防ぐために

- ①踏切の手前では必ず一旦停止し、安全を確認してから渡ってください。特に冬期間は路面凍結によるスリップに備え、踏切手前では十分に減速しましょう。また、積雪などにより踏切が確認しにくい場合があります。誤って線路に進入しないようはつきり確認してから通行してください。
 - ②警報機が鳴ったら、踏切内への無理な進入はやめてください。
 - ③踏切の中に閉じ込められた場合は、そのままゆっくり車を前進させてください。（遮断棒は、車で押せば前方に跳ね上がります。）
 - ④踏切内で動けなくなつた場合（脱輪等）は、まず列車を止めてください。
- 《非常ボタンがある場合》
カバーの上から強く押してください。信号機が作動し、列車に異常を知らせます。
- 《非常ボタンがない場合》
列車に向って大きく手を振るなどして危険を知らせてください。発炎筒や赤色の物を使用すると効果的です。
- 《列車が停止した後》
付近の人等の協力を得て脱出してください。脱出後は、最寄の駅に連絡してください。